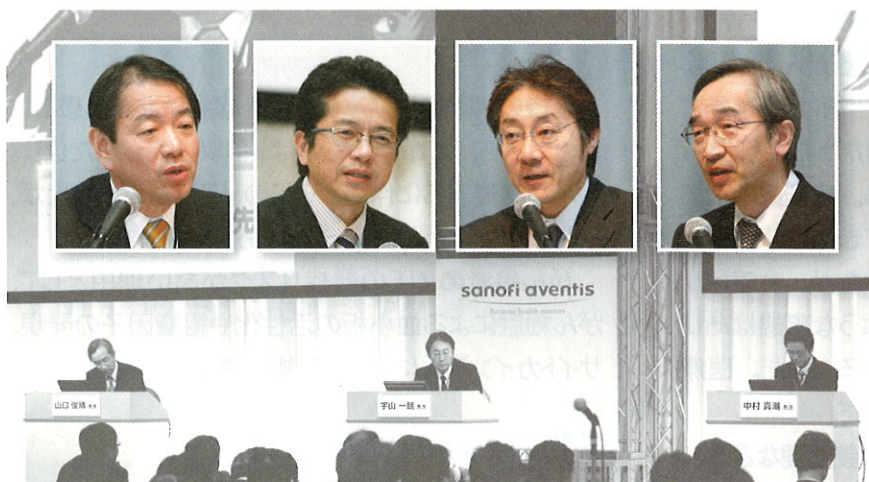


座長と演者による【質疑応答】

VTE 予防は発展途上、さらなる議論と研究を



西宮市立中央病院院長
左近賢人氏 (司会)

三重大学大学院医学系研究科
循環器・腎臓内科学講師
中村真潮氏

藤田保健衛生大学
上部消化管外科教授
宇山一朗氏

癌研究会有明病院副院長
山口俊晴氏

左近: それでは、3人の演者の先生方といくつか議論をしていきます。中村先生をはじめ多くの先生方の尽力でVTE予防ガイドラインが策定され、肺血栓塞栓症予防管理料が保険償還されることになったこともあって、わが国でもVTE予防策が定着してきました。しかし、まだ不十分だという声もあります。一般外科の手術で、理学的予防法だけでなく、抗凝固薬を使う必要があるのかどうか、中村先生はどうお考えですか。

効果効率面で薬物予防が優位

中村: 間欠的空気圧迫法 (IPC) によるVTE予防効果は、抗凝固薬より低いというデータがあります。IPCは術後の短期間なら院内で実施できますが、

VTE発症リスクの高い患者さんでは数週間にわたる長期的な予防が必要で、その対応は薬物的予防が現実的です。IPCは、機器の台数に制限があり、使用する際には患者さんにもスタッフにも時間的身体的な負担がかかります。効果の面からも効率の面からも、抗凝固薬による予防が有用な可能性があると考えます。

左近: 予防管理料の保険償還後は、日本麻酔科学会のデータにもあるように、VTEの発症が半減し、その後横ばい状態です。わが国でのデータがあまりなかった時期にもかかわらず、保険償還されたのには、どんな背景があったのでしょうか。

中村: 予防ガイドラインの策定メンバーを中心に、厚生労働省などに働き掛けたことも一つの要因だ

と思います。その際、欧米だけでなく、アジア諸国でのVTE予防の効果を示すデータを提出しました。それにより、当局がVTE予防の対応の遅れを認識されたようです。

左近：日本のVTE予防の後進性を認めたということですね。さて、宇山先生は、抗凝固薬によるVTE予防の重要性を早くから認識され、500例も症例を蓄積されています。腹腔鏡手術と開腹手術では、どちらがVTE発症リスクが高いとお考えですか。

出血リスクを考慮した 抗凝固薬の投与

宇山：腹腔鏡手術では、多くの患者さんが早くから歩けるようになることから、リスクが少ないように思えますが、術中気腹圧の影響は少なくなく、開腹手術と同じだと考えています。腹腔鏡でも開腹でも、今後も手術は複雑化していきますし、がんの手術では術前化学療法も増えているので、VTEのリスクはさらに高まると思います。

左近：実際にどのような予防を行っていますか。

宇山：術直後からの抗凝固薬投与を数百例で行い、治療を要する肺血栓塞栓症（PTE）は1例もありませんでした。2009年に一時的にそれを止めた時期があり、そのときにPTEが3例発症しました。主要血管をきちんと処置していれば、抗凝固薬による重篤な出血やショックは、少なくとも私は経験していません。もちろん小さな皮下出血が起こることはあります。逆に早期の薬物的予防を止めて、PTEを発症したわけです。経験的には、やはり術後、できるだけ早期から薬物的予防を始めた方がよいと考えます。

左近：ところで、術後の疼痛管理を行うための硬膜外カテーテルですが、山口先生はその必要性などについて、どうお考えですか？

十分な インフォームド・コンセントが重要

山口：術後の除痛は必要ですし、重要だと考えています。当院では、術前に硬膜外カテーテルを留置し、術直後はIPCによるVTE予防を行い、24時間後から抗凝固薬による薬物的予防に切り替えます。硬膜外カテーテルは術後3日目に抜きますが、その12時間前に一旦、抗凝固薬の投与を止め、抜いてから12時間経って再開します。抜去後2時間程度空けて投与すると、1日2回の投与時間が微妙にずれ、煩雑になるため、12時間後としています。

左近：現場のやりやすさを考慮しての対応ですね。

山口：臨床的にも、医療訴訟の面からも、抗凝固薬の投与は、患者さんへの十分なインフォームド・コンセントが必要だと思います。

左近：術後の除痛は必要であり、VTE予防も重要で、その取り組みはそれぞれの病院の実情に応じて、無理なくスムーズに進めることが、安全管理の上からも大切だということですね。

一般外科領域におけるVTEの予防は、個々の症例が、臨床的にも医療経済的にもいろいろな問題を抱えており、その問題を解決するのは容易ではありません。現時点では、100%完璧にVTEを予防する方法はないということです。ただ、本日のような議論や、研究を蓄積していくことで、あるべき方向は出てくるものと確信します。VTEの予防の重要性を認識し、医学と安全管理の両面から、その実現方法を考え、日常診療に生かしていただきたいと思います。

皆さん、本日はありがとうございました。